

## 「PFシート」って 知ってますか？

Private Financial（私費負担）シート、略してPFシート。

学校での保護者負担を、「学校全体でかかる教育費」の一つとして捉え、保護者負担の実態把握と同時に、公費・保護者負担の総額比較やグラフ化、目的に応じた実態把握をおこなうことを目的としたシートです。内容は、①授業に直接関係あるもの（補助教材、テスト、教材教具など）、②授業の周辺・学校行事など（修学旅行、交通費、給食費、図書費など）、③その他（生徒会費、卒業記念品、学級費など）の調査項目からなり、各学年ごとに集計していくものとなっています。

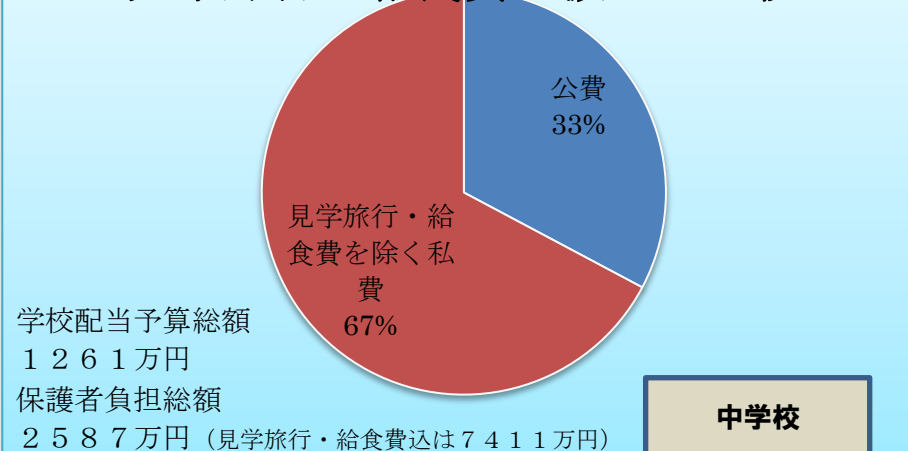
連携会議では、財政部会が中心となって市内すべての学校でこのPFシートをもとに、2015年度の保護者負担の実態把握と公費との比較をおこないました。

小学校では、教育費の総額に対し公費（各学校配当予算）53%、保護者負担47%となりました。これに対し、中学校では、公費33%、保護者負担67%となりました。※給食費、修学旅行費を除く

中学校では、保護者負担に大きく依存していることがわかります。ただ、小・中ともに保護者負担の割合が半数近くの状態であることから、義務教育が保護者の負担に大きく依存している状況が明らかになりました。

今後、各学校では年度末反省がおこなわれることと思います。その中で、このPFシートを活用して、自校の教育費の実態について全職員での共通理解を図っていただき、保護者負担の軽減に向けて一歩を踏み出していいただければ。

### 見学旅行・給食費を抜いた比較



これはPFシートのほんの一部ですが、数値をグラフ化することによって、誰でも分かりやすく簡単に比較検討することができます。それぞれの学校データは、事務職員が保管しています。

### 見学旅行・給食費を抜いた比較

